

個人質問

わた なへ み ほ 議員
渡邊 美穂 議員

- 軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業について
- 未婚ひとり親家庭のみなし控除について

さい こう 議員
陶山 良尚 議員

【施政方針に関すること】

- 子育て支援の推進について
- 高齢者福祉の推進について
- 防災・消防体制の整備充実について
- 地域交通体系の整備について
- 観光昼盤の整備充実について

問

子育て支援の将来像は

Q

以下の一点について伺う。
 ①平成27年度スタートを目指した子ども子育て会議の委員構成や審議内容、今後のスケジュールは。また、新制度により、各地域のニーズにあわせた総合的な子育て支援が行えることが大きなメリットでもあるが、本市の望む子育て支援の将来像について。②全国的に保育士不足の問題があるが、待機児童解消に向け、優秀な保育士確保が急務となっている。各保育所においてはどうか、また市としてのこの問題をどう考えているか。

A

市長 ①子ども子育て会議は、自治体の実情に応じた子育て支援策を実施するうえで大きな役割を果たすものであり、子どもは地域で育てるという視点を含め、12人の委員で構成し、6回の会議を予定しています。②国、県においても就職支援を行っているところであり、市としても市内にある大学、短期大学の指定保育士委託施設との連携を深めるなど、今後も保育士の確保に努めていきたいと考えています。

問

軽度・中等度難聴児補聴器購入助成制度の進め方は

Q

障害者手帳の対象になっていない軽度の子どもたちへの難聴児補聴器購入の助成制度について、今議会で見察された来年度施政方針の中で、本市の単独事業として実施するという市長の考えが出された。既に所管課では来年度の予算案にも組み込まれているが、今後、どのような方法で対象児童を掘り起こしていくのか。

A

市長 本年4月1日付で、太宰府市軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業実施規則を施行し、市の単独事業として、障害者総合支援法の給付対象となっていない軽度・中等度難聴児に対して、補聴器の基準額の3分の2の額の助成を開始します。本市の対象児童数として、1、2名程度になると推測しています。現在保健センターで実施している3歳児健診等において、難聴児の早期発見に努め、適切な医療機関に結びつける必要に際して、今回実施する助成事業により、補聴器購入費を助成します。本助成制度の周知については、3歳児健診時の啓発や広報やホームページに事業の内容を掲載し、積極的に推進します。



お ば た ま ゆ み 議員
小島 真由美 議員

- 医療費適正化について
- 災害対策について
- 循環型社会の構築について

ふ し い ま さ ゆ き 議員
藤井 雅之 議員

- 河川の安全管理について

問

医療費適正化・がん検診受診率向上を

Q 組織機構改革により、保健センターは地域健康部元気づくり課として、市民の生活の質と命を守る拠点としてスタートされる。医療費適正化に向けて、より充実した保健活動についてどのような構想や目標があるのか伺う。また、がん検診受診率向上に向けての課題と取り組みについて、胃がんリスク検査の取り入れ検討について伺う。

A 部長 保健センターの機能充実については、健康寿命の延伸と医療費の抑制の課題に向けた施策が必要だと考えています。今後、太宰府市としての健康増進計画を策定し、ライフステージ、年代別・課題別の目標を設定していきたいと考えています。がん検診受診率の向上については、全国的にがん検診受診率の向上に届かない状況があり、本市の受診率向上に向けて、がん検診の基盤となる検診の推進を図ります。市民の健康のため、待ち時間の短縮を促すための待合室の拡充や、がん検診の受診率向上を図ります。市民の健康のため、待ち時間の短縮を促すための待合室の拡充や、がん検診の受診率向上を図ります。市民の健康のため、待ち時間の短縮を促すための待合室の拡充や、がん検診の受診率向上を図ります。

問

河川改修工事を早急に

Q 近年、気象状況の変動により、梅雨どきや夏場になると局地的豪雨と言われる事態が全国で発生し、大きな被害が毎年各地で発生している。太宰府市内を流れる河川の安全管理について御登川の改修等も行われているが、鷺田川においても、河川の真ん中に草が生い茂り、河川管理の安全からも、早期の除草あるいは浚渫等の対応が必要と考えるが、見解は。

A 部長 河川の安全管理については、県に河川災害の防止を目的に河川内に堆積している土砂の撤去や生い茂っている樹木の伐採の要請を行いました。鷺田川については、現在改修事業を行っています。本年度は、赤岸井堰付近（遠古賀四丁目目の垣添公園付近）で、河川断面の確保を目的とした160mの護岸工事が行われます。また、多々良橋付近は、浚渫が必要です。地元自治会等と県に対し、早期の浚渫等の要望をしていきます。



保健センターの機能充実を



安全を確保する河川管理を（鷺田川）

うえ 疆 議員

- 全小・中学校の普通教室への空調設備（エアコン）の設置について
- 中学・高校生等の自由に学習する場所の増設について
- 西鉄バスの西鉄二日市駅東口・星ヶ丘線の増便等について

は せ がわ 公成 議員

- 安全・安心のまちづくりについて

問

全小・中学校の教室にエアコン設置を

Q 市長の平成26年度施政方針では、全小・中学校の普通教室への空調設備、エアコン設置について調査研究を進めていくと書かれている。児童・生徒の現況は、冬季のインフルエンザで学級閉鎖が多かったようであり、また、これからはPM2.5など大気汚染物質にさらされる恐れや、夏季の熱中症対策などで年間を通して窓を閉めることになってきているのではないかと考える。市として早急に空調設備、エアコンを設置すべきと考えるが、所見を伺う。

A 部長 児童・生徒の熱中症対策として、平成23年度から3カ年かけて全小・中学校に扇風機を設置するとともに、音楽教室や特別支援学級等へエアコンを設置してきました。しかしながら、特に最近では温暖化、ヒートアイランド現象に起因する異常な高温が生じており、また、PM2.5の飛来状況も特に著しくなった状況を踏まえ、学校の教育環境を適正に保つために普通教室においてもエアコンの設置が必要であると考えています。平成26年度は各小・中学校の温度状況を確認し、導入計画を策定することにしており、財源確保を図りながら、鋭意設置を進めていきます。



問

巡回安全パトロールステーションを

Q 東京都杉並区が先進的に取り組まれている安全・安心のまちづくりの観点から、巡回安全パトロールステーションについて伺う。
巡回安全パトロールステーションとは、交番や駐在所以外に、地域の皆さんが、防犯や犯罪に関し気軽に相談できるように杉並区が区内6カ所に開設している相談窓口です。
相談員は17名、全員が警視庁OBで、本市でもコミュニティセンターの増設が実施されると思うが、その中で、パトロールステーションの設置を検討できないか伺う。

A 部長 安全パトロールステーションは、地域のさらなる防犯対策の一環として公共施設の一部を活用したもので、地域の防犯にかかわる人たちの活動拠点であり、相談の場であると考えています。校区自治協議会に提起しながら協議を重ねていきたいと考えています。



地域に防犯力強化を

あしかり 茂 議員

- 体育複合施設について
- 松川公共施設について
- 学校教育について
- 観光推進について

ふろろ みつゆき 議員

- 県道筑紫野古賀線バイパスの4車線化事業の進捗状況と今後の実施計画について
- 歴史的風致維持向上計画の小鳥居小路溝尻水路保存修理事業の実施計画について

問

県道筑紫野古賀線バイパスの完成予定は

Q 県道筑紫野古賀線バイパスの4車線化事業は、県の上工事事業として、宇美・松川浄水場間の拡幅工事が始まったが、この工事の完成予定、進捗状況について、また松川浄水場から筑紫野市針間の今後の実施計画について伺う。

A 部長 宇美町境から松川浄水場間につきましては、現況幅員12mの2車線道路を、両側自転車歩行者道を含む幅員23・25mの道路に、4車線化する計画です。完成予定は平成28年度を目標にし、事業進捗率は平成24年度末時点で51%、用地取得は未だ5割程度です。次に松川浄水場から筑紫野市針間の今後の計画は未定であり、まずは現在事業中の区間の早期完成に努めていきます。

問

体育複合施設は本当に必要か

Q 体育複合施設の建設費は22億円です。この費用は、昨年12月議会での一般質問に対して、副市長は22億円は建設ができ、応札も多いのではないかと考えていると回答された。一方、平成26年3月に示された第4期実施計画書における体育複合施設建設事業費は、合計25億円に膨らみ、特別委員会での説明では、27億5,630万円と更に膨らんでいる。以下の三点について伺う。①現時点での総額②増額後の財源内訳③昨年末提出された6・478名の体育複合施設建設事業の凍結・中止を求める陳情に対し、平成22年1月に提出された建設要望書の署名は2,320名であったが、総合体育館についての民意はどこにあると考えるか。

A 部長 ①現在、基本設計中です。総事業費は27億5,630万円です。②総事業費の内訳は、予算へ！スで国庫補助金2億6,500万円、基金1億2,500万円、起債23億6,420万円、一般財源2,160万円を予定しています。③体育複合施設の建設は、長年の市民の皆さんの念願であるとともに大きな行政課題であると捉えています。一昨年に関連予算を減額修正する議決が議会においてなされ、一時早期建設を断念しましたが、再び議会において建設関連予算を増額修正する議決がなされ、体育複合施設の建設を旭上に載せることになりました。今後は、基本設計を確定させ、平成27年度中の完成・供用を目指し、鋭意事業を進めていきます。



体育複合施設建設の総額は



4車線化の実現はいつか